

特別支援教育だより

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園 教育支援部 発行

平成30年度 第2号（9月21日）

8月6日に通級指導を担当されている先生方を対象に「通常級と通級でできること」と題して杉本恵里子先生（四日市市立海蔵小学校教諭）に来ていただき研修会を行いました。

心に残っている点を以下にまとめました。

インクルーシブ教育の実現のためには、『基礎的環境整備』と『合理的配慮』とがキーワードとしてあげられています。小学校の通常学級においては以下の4つの視点が重要です。

① 適切な学習環境を整える

→不要な物品の片付け、掲示物、掲示方法の見直しなど

② わかりやすく興味の持てる授業を構築する

→ヒントカード、ワークシート、板書や作業量の工夫など

③ 学校生活のルールを明確にする

→学習中の姿勢、聞く態度、発言のルール、時間の厳守など

④ 一人ひとりを尊重する雰囲気作り

→グループ学習や教え合いという工夫や指導がなされたうえで、個別の『合理的配慮』を提供

一方、通級指導教室では、より個に合わせたプログラムをつくることができます。その個へのアプローチの中でも自己理解と他者理解を深め、さらには他者から期待される自分に気づいていく子どもを育ててほしいと思っています。それぞれの年齢段階においては、

小学校低学年まで（自己中心的な物の見方をしている時期）

どうしてうまくいかないのか、いっしょに考える

8歳後半～10歳（客観的な物の見方ができるようになる時期）

どうしたらうまくいくか、工夫を伝えていく

小学校高学年～（他者からの見方を自分の行動の規範とすることができるようになる時期）

自分で工夫して適応していく

ここを育てていくことで、他者を理解し、他者から期待されている自分に気づき、**集団としての力を身につける**ことができるのです。

研修会では、出席された先生方からの質疑応答や情報交換会なども行われ、大変盛況となりました。

（文責 含本）

◆ 伊賀つばさ学園の主な行事（2学期）◆

9/20（木） 小学部公開体験授業

10/18（木）・11/29（木） 中学部公開体験授業

11/10（土） つばさ祭り

12/ 4（火） PTA 学習会（障害年金について9：10～10：00 つばさ学園にて）